

(議案第1号関係)

令和5年度
事業報告書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

令和5年度 事業総括

令和5年度の本会事業ですが、酪農畜産情勢の厳しい中、牛や馬などの予防注射事業（発生予防事業）は、計画頭数 953,100 頭に対し、実績頭数は 899,781 頭で、対計画比約 6 %減の実績を確保することができました。

国の補助事業につきましては、ヨーネ病の自主的な検査やとう汰、牛ウイルス性下痢（BVD）の持続感染牛の自主的なとう汰などへの助成事業である「家畜生産農場衛生対策事業」につきましては、関係機関のご協力により、申請者等へ円滑な助成を行うことができました。

また、死亡牛のBSE検査、処理費などへの助成事業である「死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業」についても、関係者の皆様のご尽力により、大きな混乱もなく事業を推進することができました。

口蹄疫、アフリカ豚熱等の海外悪性伝染病の万が一の発生に備える「家畜防疫互助基金支援事業」につきましては、令和5年度末で3年間の事業期間が終了し、令和6年度から新たな事業期間となります。道内では、令和5年度末現在、3,016 戸の牛飼養農場、59 戸の豚飼養農場が加入しています。

そのほか、公益社団法人中央畜産会等の助成事業なども含めまして、令和5年度の協会事業は、生乳の生産抑制やロシアのウクライナへの侵略に端を発した世界的な生産資材価格の上昇など、多くの課題があるなか、各地域の自衛防疫組合や関係機関・団体の皆様のご理解とご協力のもとに円滑に推進できたことをご報告いたします。

第 1 一 般 会 務

1. 会 員

(1) 正会員 27団体

ア. 寄託会員 19団体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合。一般社団法人ジェネティクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

イ. 会費会員 8団体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

(2) 賛助会員 9団体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

2. 役員の異動

第1回臨時総会及び第4回理事会で高橋副会長の辞任に伴う役員の補欠選任が行われ、次の方が就任された。(敬称略)

役 職 名	氏 名	所 属 団 体	備 考
副会長	高橋 徹	(公社)北海道獣医師会	辞任
副会長	田村 豊	(公社)北海道獣医師会	就任

3. 総会の開催

第51回通常総会を令和5年6月9日に札幌市中央区北3条西7丁目1の北海道第2水産ビルで開催、議案及び決議事項は次のとおり。

- (1) 令和4度事業報告及び決算の承認について
- (2) 令和5年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (3) 令和5年度役員報酬総額の承認について
- (4) 令和5年度借入金の最高限度額の承認について
- (5) 令和5年度事業計画、収支予算の報告について

第1回臨時総会を令和5年8月10日付書面開催、決議事項は次のとおり。

- (1) 理事の補欠選任について

4. 理事会の開催

第1回理事会 令和5年5月23日 北海道第2水産ビル

- (1) 第51回通常総会の開催について
- (2) 第51回通常総会提案事項について
- (3) 職務執行状況の報告について

第2回理事会 令和5年6月9日 北海道第2水産ビル

- (1) 令和5年度役員報酬の執行について
- (2) 令和4年度事業報告書提出について

第3回理事会 令和5年7月24日 書面開催

- (1) 令和5年度第1回臨時総会の開催について
- (2) 理事の補欠選任について

第4回理事会 令和5年8月28日 書面開催

- (1) 副会長の選任について

第5回理事会 令和5年12月7日 北海道第2水産ビル

- (1) 報告事項
 - ア 上半期財務状況について
 - イ 上半期各事業の進捗状況について
 - ウ 寄託金等の運用状況について
 - エ 職務執行状況について

- (2) 協議事項

- ア 給与規程の一部改正について
- イ 業務方法書の一部改正について
- ウ 第6回理事会の開催について

第6回理事会 令和6年3月12日 北海道第2水産ビル

- (1) 令和6年度事業計画案について
- (2) 令和6年度発生予防事業対価案について
- (3) 令和6年度収支予算案について
- (4) 第52回通常総会の開催案について

5. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

寄 託 会 員 名	口 数	寄 託 額
北 海 道	125 口	25,000 千円
ホクレン農業協同組合連合会	150	30,000
北海道農業共済組合	25	5,000
一般社団法人ジェネティクス北海道	10	2,000
十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	1	200
空知地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
日高家畜衛生防疫推進協議会	1	200
後志家畜自衛防疫推進協議会	1	200
留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会	1	200
根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
胆振家畜自衛防疫推進協議会	1	200
オホーツク家畜自衛防疫推進協議会	1	200
公益社団法人北海道獣医師会	10	2,000
檜山地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
計 (19団体)	334	66,800

6. 会 費

金 500,000 円

会 費 会 員	会 費 額	賛 助 会 員	会 費 額
北海道農業協同組合中央会	千円 50	北海道信用農業協同組合連合会	千円 30
一般社団法人北海道酪農畜産協会	60	雪印メグミルク株式会社	30
北海道ホルスタイン農業協同組合	50	日高軽種馬農業協同組合	50
北海道町村会	20	株式会社 明治	30
北海道乳質改善協議会	20	よつ葉乳業株式会社	30
一般社団法人北海道酪農協会	10	北海道動物器薬協会	30
北海道養鶏会議	10	北海道乳業株式会社	20
一般社団法人ばんえい競馬馬主協会	20	胆振軽種馬農業協同組合	20
		一般社団法人北海道養豚生産者協会	20
計 (8団体)	240	計 (9団体)	260

第 2 事業実施成績

1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

(1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場衛生対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道家畜畜産物衛生指導協会事業:公益目的事業)

ア. 牛5種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

イ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛6種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

オ. 牛嫌気性菌5種と上記のアからエのいずれかとの同時接種

カ. 牛嫌気性菌5種

キ. 牛下痢5種混合(不)

ク. ニューカッスル病(生)

ケ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

コ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

サ. 日本脳炎(馬)

シ. 馬インフルエンザ

ス. 破傷風(馬)

セ. 馬鼻肺炎(生)

ソ. 豚丹毒(生、不)

タ. 豚流行性下痢(PED)

チ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 馬インフルエンザ(対象:競走馬)

(4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬インフルエンザ(対象:農用馬、乗用馬等)

イ. 馬鼻肺炎(生)(対象:妊娠馬)

令和5年度 発生予防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	実 績 (B)	計 画 比 (B/A)
豚 丹 毒	144,600	147,025	101.7
豚伝染性胃腸炎(TGE)・ 豚流行性下痢(PED)混合	0	0	
ニ ュ ー カ ッ ス ル 病	10,000	19,000	190.0
牛 伝 染 性 鼻 気 管 炎	596,200	538,896	90.4
牛 嫌 気 性 菌 5 種	98,500	89,802	91.2
ア カ バ ネ 病	5,100	5,144	100.9
牛 下 痢 5 種 混 合	38,800	40,101	103.4
馬 3 種 混 合	28,600	28,768	100.6
日 本 脳 炎 (馬)	600	454	75.7
馬 インフルエンザ	13,100	13,257	101.2
馬 鼻 肺 炎 (生)	17,600	17,334	98.5
馬 破 傷 風	0	0	
合 計	953,100	899,781	94.4

(地区別内訳は別紙1)

2. 令和5年度 検査推進事業（農林水産省補助事業:公益目的事業）

(1) 家畜生産農場衛生対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

(ア) 牛疾病防疫支援対策

○ ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を関係機関の協力により実施。

・自主検査 乳用牛 1,431頭 肉用牛 25,267頭 合計 26,698頭

(内訳は表①のとおり)

○ ヨーネ病発生農場における自主とう汰

ヨーネ病発生農場飼養牛の自主的なとう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 145頭 肉用牛 45頭 合計 190頭 (内訳は表①のとおり)

○ 牛伝染性リンパ腫の検査、自主とう汰

牛伝染性リンパ腫発生農場や公共牧場の検査及びハイリスク牛の自主とう汰や吸血昆虫駆除対策を関係機関の協力により実施。

・農場での検査 36農場 365頭

・ハイリスク牛の自主とう汰 0農場 0頭

・公共牧場での検査 2牧場 661頭

・公共牧場の吸血昆虫対策 9牧場

○ 牛ウイルス性下痢(BVD)対策

BVD発生農場等の検査、持続感染牛の自主とう汰などを関係機関の協力により実施。

・農場での検査 515牧場 3,207頭

・持続感染牛の自主淘汰 17農場 52頭 (内訳は表②のとおり)

(イ) 豚疾病防疫支援対策

種豚生産農場のオーエスキー病抗体検査、証明書の発行などを関係機関の協力により実施。

・抗体検査、証明書の発行 2農場 30頭

(ウ) 地域慢性疾病清浄化支援対策

牛マイコプラズマ乳房炎の清浄化のため、関係者が一体となった取り組みなどに助成を実施。

・実施団体 JAオホーツクはまなす

・検討会の開催 4回実施

・農場の検査 93農場 バルク乳 820件、個乳 4,227件、同定検査 20件

・感染牛の自主とう汰 3農場 11頭

イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 320農場(牛飼養農場)

ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

・アカバネ病ワクチン接種 5,144頭 (詳細は、発生予防事業成績(別紙1)のとおり)

(表①)

ヨーネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数(令和5年度)

事業 地区	自 主 検 査 頭 数										自主とう汰頭数				備考
	血 清				細 菌 培 養				合 計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	
	乳 用 牛		肉 用 牛		乳 用 牛		肉用牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数							
石 狩			169	457					169	457				0	
道南(渡島)	5	105	319	807					324	912				0	
道南(桧山)			267	591					267	591				0	
後 志			100	240					100	240				0	
空 知			261	1,146					261	1,146				0	
上 川	43	420	354	1,192					397	1,612				0	
留 萌			119	367			12	44	131	411				0	
宗 谷	14	22	92	221					106	243	4	6		6	
網 走	2	2	877	2,313					879	2,315	5	11	4	15	
胆 振	4	5	787	2,060					791	2,065	2		4	4	
日 高	16	195	970	2,286					986	2,481	4	2	5	7	
十 勝	15	211	1,967	9,662			6	23	1,988	9,896	36	87	26	113	
釧 路	4	5	498	2,805					502	2,810	9	24	1	25	
根 室	35	466	319	1,053					354	1,519	5	15	5	20	
合 計	138	1,431	7,099	25,200	0	0	18	67	7,255	26,698	65	145	45	190	

注 1 自主検査の戸数は延べ戸数である。

(表②)

牛ウイルス性下痢・粘膜病検査、予防接種、自主とう汰実施頭数(令和5年度)

事業 地区	検 査 頭 数						自主とう汰頭数				備考
	血 清				合 計		戸数	乳用 牛 頭数	肉用 牛 頭数	頭数 合計	
	乳 用 牛		肉 用 牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数							
石 狩											
道南(渡島)											
道南(桧山)											
後 志											
空 知			1	124	1	124					
上 川	38	215	14	57	52	272					
留 萌	5	45			5	45	4	24		24	
宗 谷											
網 走	279	673			279	673	2	5		5	
胆 振							1		1	1	
日 高											
十 勝	111	1,801	56	166	167	1,967	7	15	4	19	
釧 路	6	48	5	78	11	126	3	3		3	
根 室											
合 計	439	2,782	76	425	515	3,207	17	47	5	52	

注 1 検査の戸数は延べ戸数である。

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業(牛疾病検査円滑化推進対策事業)

ア. 事業実施頭数

事業対象死亡牛頭数	左のうち		備考
	BSE検査頭数	検査除外頭数	
8,391頭	8,263頭	128頭	全頭陰性

イ. 死亡牛適正処理推進協議会の開催

開催時期	開催場所	協議内容	参加人員	備考
令和5年12月22日	札幌市	北海道より死亡牛BSE検査体制の見直し、当協会より事業の進捗状況説明	13名	協議会構成 団体間で情 報共有
令和6年2月29日		北海道より死亡牛BSE検査体制の変更点、当協会より事業の変更について説明	14名	

3. 令和5年度 中央畜産会等助成事業（収益事業等）

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

ア. 馬飼養管理技術講習会、馬臨床に係る現地検討会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会、検討会を開催。

開催時期	開催場所	講 師	講習内容	参加人員
令和5年11月22日	苫小牧市	ノーザンファーム永原 玲先生 ほか6名	馬の運動器疾患をテーマに7講演	61名(動画視聴173名)
令和5年11月13日	新ひだか町	軽種馬生産技術総合研修センター関 一洋先生ほか2名	運動器疾患における超音波検査ほか講演と実習	62名

イ. 地域馬獣医療実態調査

調査時期	調査地域	調査対象	調査内容
令和5年10～12月	全道一円	馬飼養農家 179戸 (軽種馬を除く)	衛生管理基準の遵守状況、馬伝染性 疾病発生予防対策のアンケート調査

(2) 育成馬等予防接種推進事業

競走馬の馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)、馬インフルエンザ予防接種に助成。

馬3種混合 26,788頭 馬インフルエンザ 11,513頭

(3) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業

ア. 馬鼻肺炎予防接種

妊娠馬の馬鼻肺炎ワクチン接種に助成。 (生) 16,348頭

イ. 馬インフルエンザ予防接種

馬インフルエンザの清浄化の確認と維持を図るため、乗用馬・農用馬等の予防接種に助成。

区 分	用途別	実施頭数			合計
		農用馬	乗用馬	その他関連馬	
馬インフルエンザワクチン接種		54	382	62	498

ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、令和5年9月28日と令和6年2月28日に札幌市で開催。

(4) 組織強化対策事業

ア 地域自衛防疫活動の強化並びに農場HACCP認証の普及推進(家畜防疫・衛生指導対策事業)

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階での防疫演習の実施、牛マイコプラズマ乳房炎の検査等の助成、牛伝染性リンパ腫発生農場の検査、自主とう汰、競馬場在きゅう馬の馬伝染性貧血の抽出検査などに助成。

農場HACCP認証を普及するため、普及推進のための検討会の開催、農場への啓発活動、農場HACCPシステムの構築指導を実施。

項目	内容
地域自衛防疫推進会議	令和5年8月9日及び令和6年3月1日に札幌市で開催
生産段階での防疫演習	家畜保健衛生所と連携し、小清水町、北広島市、平取町、長万部町、幌延町、安平町、網走市、滝上町で開催（計8回）
牛マイコプラズマ乳房炎対策	十勝管内搾乳農場(1,006農場)の採材費、検査料に助成
牛伝染性リンパ腫清浄化支援	本病発生乳用牛飼養1農場(せたな町)の検査、自主とう汰、吸血昆虫対策等に助成
馬伝染性貧血自衛検査	競馬場に在きゅうしている馬の馬伝染性貧血抽出検査への助成(助成頭数:60頭)
農場HACCP普及推進協議会の開催	令和5年11月1日に帯広市で、生産者及び関係者の参集により開催(出席者:71名)、同時にライブ配信を実施(60名視聴)
農場HACCP地域啓発活動	令和5年5月30日及び令和6年1月30日に札幌市で、農場HACCP審査員を参集し、検討会を開催
農場HACCPシステム構築指導	乳用牛4農場(清水町、湧別町2戸、標津町)、肉用牛3農場(浦幌町、清水町、広尾町)、豚2農場(白老町、美瑛町)で実施

イ 畜産経営技術指導事業(畜産関係団体調整機能強化事業)

生産者等からの家畜衛生に関する技術の相談、家畜衛生関連の情報提供依頼に応じるため、窓口を設置し、当協会の獣医師及び農場HACCP審査員資格を有する職員が相談に対応。

また、当協会ホームページに講習会内容などの家畜衛生情報を掲載。

(5) 家畜防疫互助基金支援事業

令和5年度家畜防疫互助事業生産者積立金額

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類		契約戸数	契約頭数	生産者積立金
乳用牛・肉用牛	1 乳用牛				
	(1) 乳牛(24か月齢以上)		2,212	221,647	54,303,515
	(2) 乳牛(24か月齢未満)		2,235	157,366	14,162,940
	2 肉用牛				
	(1) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上)		810	35,147	8,259,545
	(2) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛		820	67,090	8,386,250
	(3) 肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		221	112,499	9,890,735
	(4) 乳用種肥育牛		161	117,890	10,610,100
	計		3,016	711,639	105,613,085
豚	企業型	(1) 繁殖用種豚(雌)	32	34,537	13,469,430
		(2) 繁殖用種豚(雄)	30	775	302,250
		(3) 肥育豚	33	353,278	38,860,580
	小 計		33	388,590	52,632,260
	家族型	(1) 繁殖用種豚(雌)	25	3,237	1,213,875
		(2) 繁殖用種豚(雄)	25	182	68,250
		(3) 肥育豚	26	31,036	3,258,780
	小 計		26	34,455	4,540,905
	計		59	423,045	57,173,165
	合 計		3,075	1,134,684	162,786,250

4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

(1) 広報誌等の発行(自衛防疫強化総合対策事業、家畜衛生対策事業)

発行年月	発行部数	標題	発行者	配布先
令和5年	HP掲載	牛、競走用馬の予防注射プログラム	道衛指協	HP掲載
令和5年4月	250部	予防注射事業の事務処理要領	道衛指協	支部、各自衛防疫組合

(2) 家畜衛生技術普及講習会(講習会事業)

ア. 家畜衛生技術普及講習会(技術者向け)

区分	開催月日	場所	講 師	講習内容	参加者
本部	令和5年7月11日	札幌市	北海道網走家畜保健衛生所 戸田 有恒 先生 ほか	オホーツク管内のエミュー飼育農場で発生した高病原性鳥インフルエンザ ほか	56名
上川支部	令和5年7月30日	旭川市(参集及び配信)	農業・食品産業技術総合研究機構 梁瀬 徹 先生 ほか	アルボウイルスによる牛の異常産について ほか	65名(参集、配信計)
本部	令和5年7月28日	札幌市	北海道大学大学院獣医学研究院 磯田 典和 先生	豚熱、アフリカ豚熱の現状について	58名
留萌支部	令和5年9月20日	幌延町	北海道大学大学院獣医学研究院 今内 寛 先生	牛伝染性リンパ腫における最近の知見	18名
釧路支部	令和6年2月21日	釧路市	ペーリンガーインゲルハイムアニマルヘルス 池田 恵子 先生 ほか	公共育成牧場の駆虫 ほか	33名
合計	5回				230名

イ. 家畜衛生技術普及講習会(農家向け)

区分 支部	牛		豚		鶏		馬		放牧衛生		衛生全般		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人 員
宗 谷	14	145											14	145
胆 振					2	102					1	32	3	134
十 勝	4	35											4	35
合 計	18	180	0	0	2	102	0	0	0	0	1	32	21	314

5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病並びに豚熱等侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会北海道海外悪性伝染病防疫対策協議会(経理担当)の事業推進に協力。